

博士課程前期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。また、指導教員による個別指導に加え、プログラム・分野毎の集団指導体制を取り入れることにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。

1. 学位:修士(法学)CP

1-1 研究者養成プログラム

国内外の大学等の研究・教育機関において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての基礎的な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

1-2 高度社会人養成プログラム

現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・实际的・総合的な解決能力とともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文またはリサーチ・ペーパーを作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

1-3 グローバル異分野共創プログラム(KIMAP in Global Business Law)

国内外のビジネス界において英語で法律実務・ビジネス実務に従事する能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:他の人と協働して実務につく能力を身につけることができるよう、実務科目を、それぞれ開設する。
- ・国際性:法学の外国語文献の読解能力および英語での会話能力を身につけることができるよう、法律英語科目および先端法学専門科目を開設する。

- ・専門性:法学を中心とする先進的な専門知識を身につけることができるよう、先端法学専門科目を開設する。経済学および経営学分野の学際的な知識を身につけることができるよう、社会科学基礎科目および異分野共創科目を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文またはリサーチ・ペーパーを作成することができるよう、社会科学基礎科目、異分野共創科目および演習(論文作成)を開設する。

なお、以上 1-1~1-3 に掲げた科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実習科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

2. 学位:修士(政治学)CP

2-1 研究者養成プログラム

国内外の大学等の研究・教育機関において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての基礎的な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

2-2 高度社会人養成プログラム

現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・実地的・総合的な解決能力とともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設

する。

- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力を身につけ、最終的に修士論文またはリサーチ・ペーパーを作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

なお、以上2-1～2-2に掲げたこれらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多角的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実習科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多角的、包括的な方法で到達度を判定する。

博士課程後期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。また、指導教員による個別指導に加え、プログラム・分野毎の集団指導体制を取り入れることにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。

1. 学位:博士(法学)CP

1-1 研究者養成プログラム

法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としてより高度な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

1-2 高度社会人養成プログラム

高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうるより高度な問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。

- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

1-3 高度専門法曹養成プログラム

極めて専門的・先端的な法分野で活躍できる法律家としての能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、高度専門法曹特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学分野の研究理解力を身につけることができるよう、高度専門法曹特殊講義を開設する。
- ・専門性:高度専門法曹にとって必要な極めて専門的・先端的な知識を身につけることができるよう、高度専門法曹特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文導入演習、論文指導および論文作成)を開設する。

なお、以上1-1～1-3に掲げた科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

2. 学位:博士(政治学)CP

2-1 研究者養成プログラム

法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としてより高度な能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講

義を開設する。

- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

2-2 高度社会人養成プログラム

高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうるより高度な問題解決能力を身につけることができるよう、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力を身につけることができるよう、方法論特殊講義を開設する。
- ・国際性:世界の法学・政治学分野の研究理解力を身につけることができるよう、外国文献研究および特殊講義を開設する。
- ・専門性:法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識を身につけることができるよう、特殊講義を開設する。
- ・創造性:論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力を身につけ、最終的に博士論文を作成することができるよう、演習(論文指導および論文作成)を開設する。

なお、以上2-1～2-2に掲げた科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

専門職学位課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科実務法律専攻は、以下に示す方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・人間性:法曹として求められる高い倫理観を身につけることができるよう、対話型演習法曹倫理を開設する。
- ・専門性:すべての法曹に必要な基本的知識およびこれを基盤とした応用能力を身につけることができるよう、法律基本科目(必修)を開設するほか、より高度な知識および応用能力を身につけることができるよう、必修科目以外の法律基本科目を開設する。また、ビジネス・ローを中心とした先端的法分野についての知識およびこれを基盤とした応用能力を身につけることができるよう、展開・先端科目を開設する。さらに、上記の知識および応用能力に加えて、将来の法曹としての実務に必要な学識および能力ならびに素養(法律に関する実務の基礎的素養ならびに法的な推論、分析および構成に基づいて弁論をする能力を含む。)を身につけることができるよう、法律実務基礎科目(必修)を開設するほか、より高度な能力および素養を身につけることが

できるよう、必修科目以外の法律実務基礎科目を開設する。

- ・創造性:新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目を開設する。
- ・国際性:多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目、基礎法学・隣接科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学修、遠隔授業等を適宜組み合わせる。各科目の具体的な教育方法は、以下に示す方針に従う。

- ・法律基本科目については、講義により、科目ごとに必要とされる基本的知識の修得を図ったうえで、演習により、ソクラテス・メソッドやケース・メソッド等を用いてその知識を基盤とした応用能力(文書作成能力を含む。)を涵養する。さらに、R&Wゼミにより、実務法曹に必要とされる専門的な文書作成能力・論述能力を涵養するための実践的な訓練を行う。
- ・法律実務基礎科目については、講義により、科目ごとに必要とされる基本的知識(法律に関する実務の基礎的素養を含む。)の修得を図ったうえで、演習により、ソクラテス・メソッドやケース・メソッド等を用いてその知識を基盤とした応用能力(専門的な文書作成能力のほか、法的な推論、分析および構成に基づいて弁論をする能力を含む。)を涵養する。さらに、エクスターンシップ、ローヤリング等の体験型学修を適宜組み合わせることで実務法曹に必要とされる実践的能力を涵養する。
- ・展開・先端科目については、講義により、ビジネス・ローを中心とした先端的法分野の知識の修得を図るほか、演習により、ソクラテス・メソッドやケース・メソッド等を用いてその知識を基盤とした応用能力を涵養する。また、R&Wゼミにより、実務法曹に必要とされる専門的な文書作成能力・論述能力を涵養するための実践的な訓練を行う。
- ・基礎法学・隣接科目については、講義により、科目ごとに必要とされる基本的知識の修得を図るほか、アクティブラーニング、体験型学修等を適宜組み合わせることでその知識を基盤とした実践的能力を涵養する。

学修成果の評価は、次の方法で行う。成績評価にあたっては、所定の成績評価基準に関する細則に従う。

- ・講義科目については、シラバスに明示した成績評価方法に従って、論述式の筆記試験、レポート、授業中の発言等による参加度等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実習等の科目については、シラバスに明示した成績評価方法に従って、論述式の筆記試験、レポート、授業中の発言等による参加度、発表内容等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

博士課程前期課程カリキュラムマップ

・KIMAP以外のプログラム

		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
人間性	社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力	方法論特殊講義(※1)	方法論特殊講義	方法論特殊講義	
国際性	世界の法学・政治学分野の研究理解力	外国文献研究(※2) 特殊講義(※3)	外国文献研究 特殊講義	外国文献研究 特殊講義	
専門性	法学・政治学分野の先進的な専門知識	特殊講義	特殊講義	特殊講義	特殊講義
創造性	論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力	演習 (法学政治学論文指導)	演習 (法学政治学論文指導)	演習 (法学政治学論文指導)	演習 (法学政治学論文作成)

※1 方法論特殊講義:方法論特殊講義(法学リサーチデザイン)、方法論特殊講義(政治学リサーチデザイン)、方法論特殊講義Ⅰ、方法論特殊講義Ⅱ、方法論特殊講義Ⅲ

※2 外国文献研究:法学文献研究

※3 特殊講義:実定法学特殊講義(憲法)、実定法学特殊講義(行政法)、実定法学特殊講義(民法)、実定法学特殊講義(商法)、実定法学特殊講義(民事手続法)、実定法学特殊講義(刑事法)、実定法学特殊講義(租税法)、実定法学特殊講義(知的財産法)、実定法学特殊講義(労働法)、実定法学特殊講義(社会保障法)、実定法学特殊講義(環境法)、実定法学特殊講義(経済法)、実定法学特殊講義(国際民事法)、実定法学特殊講義(国際経済法)、実定法学特殊講義(国際法)、基礎法学特殊講義(比較法)、基礎法学特殊講義(法史)、法社会学特殊講義(法システム)、法社会学特殊講義(紛争過程論)、政治学特殊講義(国際関係論)、政治学特殊講義(政治理論)、政治学特殊講義(政治外交史)、政治学特殊講義(西洋政治史)、政治学特殊講義(政治過程論)、政治学特殊講義(行政学)、政治学特殊講義(現代政治)、政治学特殊講義(比較政治)、法政策特殊講義(憲法問題分析)、法政策特殊講義(行政法政策論)、法政策特殊講義(行政法過程論)、法政策特殊講義(金融商品取引法)、法政策特殊講義(労働・社会保障法政策論)、法政策特殊講義(競争政策法)、法政策特殊講義(国際法政策論)、法政策特殊講義(法文化)、法政策特殊講義(法思想)、法政策特殊講義(現代司法論)、法政策特殊講義(ADR論)

・KIMAP

		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
人間性	他の人と協働して実務につく能力		実務科目 (Short Term Internship、Internship)	実務科目 (Short Term Internship、Internship)	実務科目 (Short Term Internship、Internship)
国際性	法学の外国語文献の読解能力及び英語での会話能力	法律英語科目	法律英語科目	法律英語科目	法律英語科目
		先端法学専門科目(※1)	先端法学専門科目	先端法学専門科目	先端法学専門科目
専門性	法学を中心とする先進的な専門知識	先端法学専門科目	先端法学専門科目	先端法学専門科目	先端法学専門科目
創造性	論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力	社会科学基礎科目(※2)、異分野共創科目(※3)	社会科学基礎科目、異分野共創科目	社会科学基礎科目、異分野共創科目	演習 (法学政治学論文作成)

※1 先端法学専門科目: Japanese Legal System I, Japanese Legal System II, Asian Law, Introduction to Common Law I, Introduction to Common Law II, Private International Law, International Business Transactions, Public International Law, International Investment Law International Arbitration, WTO Law

※2 社会科学基礎科目 KIMAP Intermediate Macroeconomics, KIMAP Intermediate Microeconomics, Business Economics, Introduction to Management, Introduction to Accounting

※3 異分野共創科目:経営学研究科及び経済学研究科の提供する科目

博士課程後期課程カリキュラムマップ

・研究者養成および高度社会人養成プログラム

		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力	方法論特殊講義(※1)	方法論特殊講義	方法論特殊講義			
国際性	世界の法学・政治学分野の研究理解力	外国文献研究(※2) 特殊講義(※3)	外国文献研究 特殊講義	外国文献研究 特殊講義	特殊講義	特殊講義	
専門性	法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識	特殊講義(※4)	特殊講義	特殊講義	特殊講義	特殊講義	
創造性	論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力	演習 (法学政治学論文指導)	演習 (法学政治学論文指導)	演習 (法学政治学論文指導)			演習 (法学政治学論文作成)

※1 方法論特殊講義:方法論特殊講義Ⅰ、方法論特殊講義Ⅱ、方法論特殊講義Ⅲ

※2 外国文献研究:法学文献研究

※3 特殊講義:実定法学特殊講義(憲法)、実定法学特殊講義(行政法)、実定法学特殊講義(民法)、実定法学特殊講義(商法)、実定法学特殊講義(民事手続法)、実定法学特殊講義(刑事法)、実定法学特殊講義(租税法)、実定法学特殊講義(知的財産法)、実定法学特殊講義(労働法)、実定法学特殊講義(社会保障法)、実定法学特殊講義(環境法)、実定法学特殊講義(経済法)、実定法学特殊講義(国際民事法)、実定法学特殊講義(国際経済法)、実定法学特殊講義(国際法)、基礎法学特殊講義(比較法)、基礎法学特殊講義(法史)、法社会学特殊講義(法システム)、法社会学特殊講義(紛争過程論)、政治学特殊講義(国際関係論)、政治学特殊講義(政治理論)、政治学特殊講義(政治外交史)、政治学特殊講義(西洋政治史)、政治学特殊講義(政治過程論)、政治学特殊講義(行政学)、政治学特殊講義(現代政治)、政治学特殊講義(比較政治)、法政策特殊講義(憲法問題分析)、法政策特殊講義(行政法政策論)、法政策特殊講義(行政法過程論)、法政策特殊講義(金融商品取引法)、法政策特殊講義(労働・社会保障法政策論)、法政策特殊講義(競争政策法)、法政策特殊講義(国際法政策論)

※4 高度社会人養成プログラムにおいては、実務法律専攻科目(法政策特殊講義(法文化)、法政策特殊講義(法思想)、法政策特殊講義(現代司法論)、法政策特殊講義(ADR論))を含む。

・高度専門法曹養成プログラム

		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力	高度専門法曹 特殊講義(※)	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義			
国際性	世界の法学分野の研究理解力	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義			
専門性	高度専門法曹にとって必要な極めて専門的・先端的な知識	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義	高度専門法曹 特殊講義	
創造性	論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力	演習 (TLP論文導入演習)	演習 (法学政治学論文指導)	演習 (法学政治学論文指導)			演習 (法学政治学論文作成)

※ 高度専門法曹特殊講義:租税手続法・争訟法、企業課税(国際租税)、租税法判例・事例研究、独占禁止法実務Ⅰ、独占禁止法実務Ⅱ、独占禁止法判例・事例研究、知的財産訴訟、知的財産契約、知的財産法判例・事例研究、労働法判例研究、エンタテインメント法実務、Dispute Management for International Business 1、Dispute Management for International Business 2

専門職学位課程カリキュラムマップ

	修了までに修得すべき能力等	1L	2L	3L	
性間人	法曹として求められる高い倫理観			対話型演習法曹倫理	
専門性	職業法曹として必要な高度の専門能力・知識の修得	すべての法曹に必要な基本的知識	憲法基礎, 行政法基礎, 民法基礎 I, 民法基礎 II, 民法基礎 III, 商法基礎, 民事訴訟法基礎, 刑法基礎 I, 刑法基礎 II, 刑事訴訟法基礎, 法解釈基礎 I, 法解釈基礎 II	対話型演習憲法, 対話型演習行政法 I, 対話型演習行政法 II, 対話型演習民法 I, 対話型演習民法 II, 対話型演習民法 III, 対話型演習商法 I, 対話型演習商法 II, 対話型演習民事訴訟法, 対話型演習刑法 I, 対話型演習刑法 II, 対話型演習刑事訴訟法	家族法
		基本的知識を基盤とした応用能力		応用憲法, 応用民事訴訟法	応用刑事訴訟法, 商取引法, R&Wゼミ憲法, R&Wゼミ民法, R&Wゼミ商法, R&Wゼミ民事訴訟法, R&Wゼミ刑事法
		将来の法曹としての実務に必要な学識および能力ならびに素養		対話型演習民事裁判実務, 対話型演習刑事手続実務, 法律文書作成演習 I, 法律文書作成演習 II	ローヤリング, エクスターンシップ, 海外エクスターンシップ, 公法系訴訟実務基礎, 民事裁判演習, 刑事裁判実務, 実務刑事法総合, R&Wゼミ企業法務
		先端的法分野についての知識および応用能力		ワークショップ企業内法務	
					医事法, 金融商品取引法, 保険法, 経済刑法, 刑事学, 商標不正競争法, 消費者法, ADR論, 社会保障法, R&Wゼミ倒産法 I, R&Wゼミ倒産法 II, R&Wゼミ租税法 I, R&Wゼミ租税法 II, R&Wゼミ経済法 I, R&Wゼミ経済法 II, R&Wゼミ知的財産法 I, R&Wゼミ知的財産法 II, R&Wゼミ労働法 I, R&Wゼミ労働法 II, R&Wゼミ環境法 I, R&Wゼミ環境法 II, R&Wゼミ国際法, R&Wゼミ国際私法 I, R&Wゼミ国際私法 II
創造性	新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力			民事執行・保全法, 倒産法, 特許法, 著作権法, 租税法 I, 租税法 II, 労働法 I, 労働法 II, 経済法 I, 経済法 II, 環境行政法, 環境訴訟	
				先端実務租税法判例・事例研究, 先端実務経済法判例・事例研究, 先端実務知的財産法判例・事例研究, 先端実務知的財産法判例・事例研究 II, 法学研究論文演習	
国際性	多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力			比較憲法, 国際経済法, 国際取引法, 現代司法論, 法文化, 法思想, 英米法, ヨーロッパ法, アジア法, 中国法	
				国際法 I, 国際法 II, 国際私法	